様式第５号

法人名：

**全県版おかやま子ども支援ネットワーク事業　提案書（ひな形）**

１　法人について

　・何を目的として、いつ設立し、どのような活動を行っているか、簡単に記載してください。

　（１）設立の目的

　（２）設立年月日

　（３）活動内容

　（４）子どもの居場所コーディネーターとなる方の氏名・簡単な経歴

２　子どもの貧困問題に対する現状認識、課題等

　（１）現状認識

　　　・統計数字等ではなく、活動を通じて貴法人が実感している子どもの貧困問題についての現状認識を記載してください。

　　　　記載例：貧困の連鎖がある、見つけづらい、増えている。これらに事例を添えて簡潔に記載願います。

　（２）課題

　　　・貴法人が子どもの支援を行う際に課題となっていることを簡潔に記載してください。

３　提案について

　（１）取組方針

　　　・委託仕様書に記載の本業務の目的（仕様書２（２））や内容（仕様書６）を踏まえ、将来の目指す姿と、その実現のため、どのような方針で下記（３）の業務に取り組むのか簡潔に記載してください。

　（２）執行体制

　　　・本業務の推進体制（責任者や下記（３）に記載の各業務に従事する方の役割等）を簡潔に記載してください。

　（３）業務の実施方法

　　　・業務の目的を達成するため、何に、どう取り組むのか、仕様書６（１）①～⑫の業務について、詳細な実施手法等について、具体的に記載してください。

**↓※ひとつの項目について、３～４行程度で簡潔に書いてください。**

　ア：全県版おかやま子ども支援ネットワーク事業

①子どもの居場所の開設相談・運営相談窓口の設置

　　（体制、周知広報、どのように対応していくのかなど）

　 ②ネットワークの加入促進・拡大

　　（新たな加入者をどう見つけ、加入に結び付けていくのかなど）

　　③子どもの居場所運営者への研修会の開催

　　（周知方法、研修会の目的、大まかな開催内容など）

　　④ネットワーク参加団体間の交流促進

　　（実施時期、実施方法、実施内容など）

　　⑤おかやま子ども支援ネットワーク事業や子どもの居場所の情報発信

　　（誰に対して、どのようなツールを使い、どのような内容を発信するかなど）

　　⑥子どもの居場所がない又は少ない市町村における子ども食堂の体験機会の

提供（開催予定市町村名、なぜその市町村を選んだのか、子ども食堂の内容、周

知方法、協力を得る関係団体、どのように今後の開設につなげていくかなど）

　　⑦子どもの居場所への協力企業等の発掘、マッチング

　　（どのように発掘するのか、開拓企業先、具体的な連携内容など）

　　⑧食材、寄附金等の情報提供や配布等の調整

（参加団体のニーズをどうやって把握し、提供するか、食材・物資等どのような

ものを提供するか、提供するものをどのようにして集めるのかなど）

　　⑨ボランティアの育成・マッチング

　　（ボランティアを増やす取組内容、居場所とのマッチングの方法など）

　　⑩市町村及び市町村社会福祉協議会との連携

　　（連携の方法など）

　　⑪岡山県子どもの居場所登録制度の実施

　　（周知方法、事前相談対応・申請受付をどのようにスムーズに行うかなど）

　　⑫活動エリアを超えたフードドライブによる相談対応への支援

　　（補助要件、補助内容、事務手続きなど）

　　⑬その他（上記以外で必要と考える取り組みがあれば記載してください）

イ：本委託業務における県との情報共有及び連携

ウ：年間事業報告書（年度末）等の作成

　　記載例：年間事業報告書を作成し、県の指定する日までに必ず提出します。

エ：業務の全体のスケジュール

　　　●委託業務全体のスケジュールを記載してください。

　　　●その際に、以下の内容は必ず記載してください。

　　　　・事業内容③④⑥の実施時期及び周知広報開始時期

　　　　・企業（新規）への訪問（「随時訪問」の記載はしないでください）

オ：個人情報の取扱方法

　　　個人情報の管理及び処理の方法について記載してください。

４　見積書

　　別紙のとおり